

冬のおくらしの大敵！

12月に入り本格的な冬を迎えました。雪が降り積もると、必ずしなければならぬ除雪作業ですが、毎年、テレビや新聞などで除雪や雪下ろし中の事故が報じられています。残念ながら、市内でも毎年発生しています。

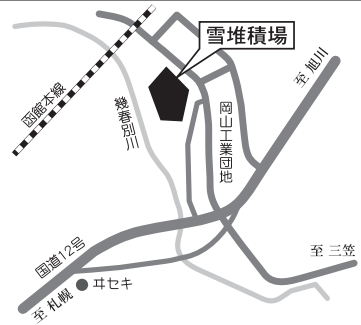
冬は、除雪が生活の一部となり、毎日のようにしていると、作業に慣れて気が緩んでしまいがちです。除雪や雪下ろし作業には多くの危険が潜んでいます。自分は絶対大丈夫！その油断が事故を引き起こすこともあります。

今月号は、除雪や雪下ろしでの危険な場面や、知っておくと便利なことなどを紹介します。今一度、除雪や雪下ろしで想定される危険を確認し、事故を起こさない、巻き込まれないように気をつけましょう。

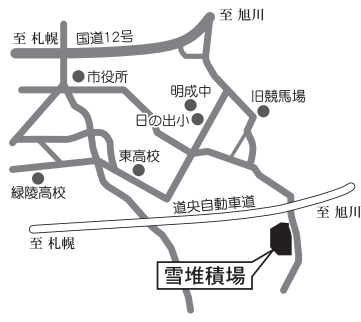
問合せ先 除排雪対策本部
☎ 22局 8400

市民の雪堆積場

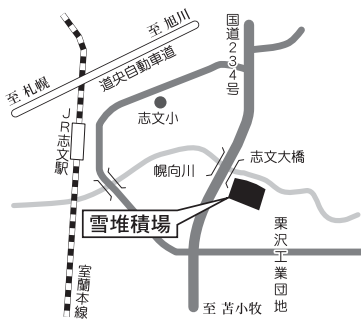
岡山町 雪堆積場



日の出町 雪堆積場



栗沢町 雪堆積場



利用時間 午前7時～午後8時
開設期間 平成28年3月下旬まで
※年末年始の開設は次のとおりとなります。

日程	利用時間	堆積場
12月31日(木)	午前7時～正午	岡山町雪堆積場のみ
平成28年1月1日(祝)	午前7時～午後5時	栗沢町雪堆積場のみ
2日(土)	午前7時～午後5時	日の出町雪堆積場のみ

問合せ先 除排雪対策本部

除雪ボランティア募集

高齢者世帯等への除雪支援を行う、除雪ボランティアを募集しています。雪に負けない「安全・安心な福祉のまちづくり」のため、ボランティアの事前登録に皆様のご協力をお願いします。なお、活動内容などの詳細は、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

申込・問合せ先 社会福祉協議会(11西3) ☎ 22局 2960

ご利用にあたって

- ◆ご利用の際は、管理人の指示に従ってください
- ◆雪と一緒にごみを持ち込まないでください
- ◆通路を作ることでできる降雪があつてからの開設となります

安全にご利用いただくため、ご協力をお願いします。

❗雪下ろし中の事故
足を滑らせたり、雪と一緒に滑り落ちたりする転落事故が毎年発生しています。気温が高めの日には、雪が解けて滑りやすくなるので注意してください。また、はしごからの転落にも注意が必要です。はしごの足元を他の人に押さえてもらうなどしてしっかり固定し、最上部も安定していることを確認しましょう。
雪が多いときや雪下ろし作業に不安を感じたら、業者に依頼することも考えましょう。
市は、雪下ろし作業中の事故を防ぐため、安全装備の無料貸し出しを行っています。詳しくは、市防災対策室にお問い合わせください。

❗屋根からの落雪

落ちてきた雪の下敷きになる事故が少なくありません。屋根に雪が載っている時期は、軒先には不用意に近づかないようにしましょう。
また、軒先からせり出した雪庇やつららを落としているとき、落ちてきた氷や雪のかたまりが直撃することもあります。ヘルメットや長い柄のついた道具を用意するなど、安全を心がけましょう。

二人以上で作業を

服装は体温調整がしやすいように重ね着で

水分補給や休憩をこまめに

携帯電話を持って

周りの状況や気象情報に注意

準備運動、整理運動を忘れずに

❗作業中の急な発作

除雪作業は重労働です。除雪作業中に発病し、重大な結果を招いてしまうことがあります。こまめに休憩を取りながら、無理をせず除雪作業を行いましょう。

❗作業中の転倒

玄関前の階段やスロープなどで滑って転び、大ケガをすることがあります。滑りづらい冬靴を選び、転んでもケガをしないように帽子や手袋などを着用しましょう。

❗交通事故

除雪中は、雪による視界不良、フードをかぶったままの作業、除雪機の音などで、周囲の状況を把握しづらくなります。冬は雪山などで見えにくい場所が多いので、除雪作業をする際は、前方だけでなく後方の車や除雪車にも注意しましょう。

❗除雪機などの操作ミス

除雪機に詰まった雪を取り除こうとして、体の一部を巻き込まれてしまう場合が多いので、面倒でも必ずエンジンを切りましょう。
除雪機をバックさせようとして転び、自分がひかれてしまうケースや子どもが巻き込まれる事故もあります。周りの状況に注意して除雪機を操作し、絶対に子どもは近づかせないようにしましょう。
また、吹き飛ばした雪が、通行人や通行車両にあたらないように注意してください。
除雪機はとても便利ですが、大きな事故につながる可能性があることをしっかり頭において作業しましょう。

除雪らくらく豆知識

つらい除雪作業を少しでも楽にしたい。それは誰もが思っているのではないのでしょうか。すでに知っていることかもしれませんが、改めて紹介します。

スコップですくう時は、雪山に近づくと軽い力で持ち上げることができます

雪かきは腕だけではなく足や腰も使いましょう。前かがみの姿勢は腰を痛めます

スコップの柄を上から持つ(順手)ことで、体全体を使いやすくなります

雪かき道具に雪が付いて作業がしづらい場合は、市販のシリコンスプレーなどを使うと雪が付かなくなりやすくなります

雪をスコップですくえる程度の大きさにサイコロ状に切ると、多くの量をすくえます

